

○ (仮称)札幌駅南口北4西3地区第一種市街地再開発事業環境影響評価方法書について

委員名	送付日	修正意見等の内容	都市計画決定権者回答
近藤会長	12月21日	○ 主に緑化計画、植物、生態系、人と自然のふれあい活動の場、日照障害について見たが、意見はない。	—
伊藤委員	12月22日	○ 特に意見はない。	—
石塚委員	12月22日	○ 特に意見はない。	—
福原委員	12月23日	○ 特に意見はない。	—
奈良委員	12月23日	○ 特に意見はない。	—
鈴木委員	12月23日	○ 特に意見はない。	—
水島委員	12月24日	○ 特に意見はない。	—
坪田副会長	12月24日	○ 特に意見はない。	—
吉田委員	12月24日	○ 特に意見はない。	—
渡部委員	12月25日	○ 特に意見はない。	—
奥本委員	12月25日	○ 特に意見はない。	—
上田委員	12月25日	○ 特に意見はない。	—
高橋委員	12月25日	○ 特に意見はない。	—
秋山委員	12月25日	○ 函書9.2 調査、予測及び評価の手法の9.2.1 大気質の中で、9-14ページに地下駐車場排気の諸元を予測時に用いる流れとなっていますが、諸元をどのような考え方で設定するのかわからないので、お聞かせいただきたい。	<p>○地下駐車場排気口から排出される汚染物質排出量(mg/日)は、以下の式により算定し、方法書(p.9-10)に示した予測式を用いて、拡散計算により将来濃度を予測します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>汚染物質排出量(mg/日) =地下駐車場利用台数(台/日) × 地下駐車場内走行距離(km) × 自動車排出係数(mg/km・台)</p> </div> <p>なお、駐車場利用台数及び走行距離は、事業計画・施設計画から設定するとともに、自動車排出係数は、「道路環境影響評価の技術手法(平成24年度版)」(平成25年3月国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人土木研究所)に基づいて設定します。また、排出係数は、施設内の想定走行速度を勘案した数値を汚染物質毎(NO₂・SPM)に設定します。</p>